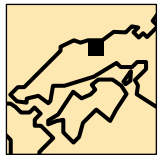


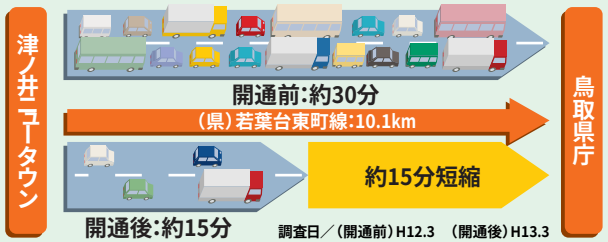
国道29号津ノ井バイパスの整備効果

朝夕の慢性的な交通渋滞が緩和

- 国道29号津ノ井バイパス（9.5km）の整備により、市街地に流入する交通が分散され、県道若葉台東町線（旧国道29号）の朝夕の慢性的な交通渋滞が緩和。
- 「交通の安全確保」や「環境の改善」のほか津ノ井ニュータウンの利便性の向上に役立つと期待されている。

●渋滞の解消により所要時間が大幅に短縮

朝の通勤時間帯における津ノ井ニュータウン～鳥取県庁間の所要時間の変化



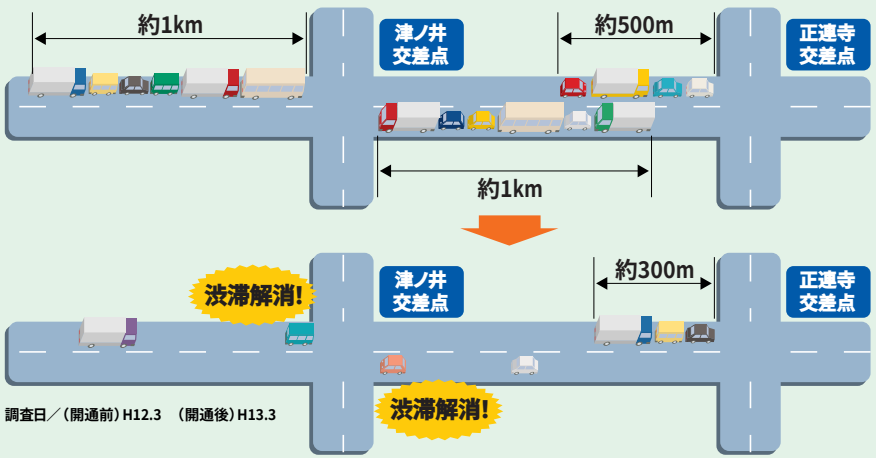
調査日／（開通前）H12.3　（開通後）H13.3

資料／中国地方整備局調べ

●県道若葉台東町線（旧国道29号）の朝の渋滞が緩和

朝の渋滞状況の変化

津ノ井交差点の渋滞長の変化



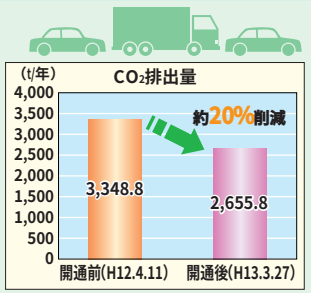
調査日／（開通前）H12.3　（開通後）H13.3

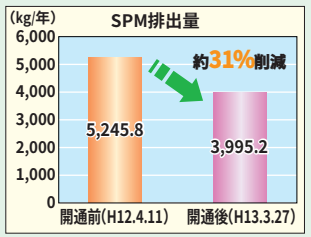
資料／中国地方整備局調べ

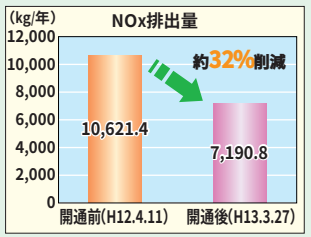
●周辺地域の環境改善

県道若葉台東町（旧国道29号）周辺の環境の変化

朝夕大変混雑していた、県道若葉台東町線（旧国道29号）の渋滞が緩和され、走行がスムーズになったことにより、大気汚染の原因であるCO_2、NOx、SPMの排出量が減少しています。







CO_2:二酸化炭素　NOx:二酸化窒素　SPM:浮遊粒子状物質　資料／中国地方整備局調べ